

ムーンショット型研究開発制度の概要及び目標について

制度概要

超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標（ムーンショット目標）を国が設定し、挑戦的な研究を推進する制度。

目標

「Human Well-being」（人々の幸福）を目指し、その基盤となる社会・環境・経済の諸課題を解決すべく、9つのムーンショット目標に加え、**1つの新たな目標を設定**

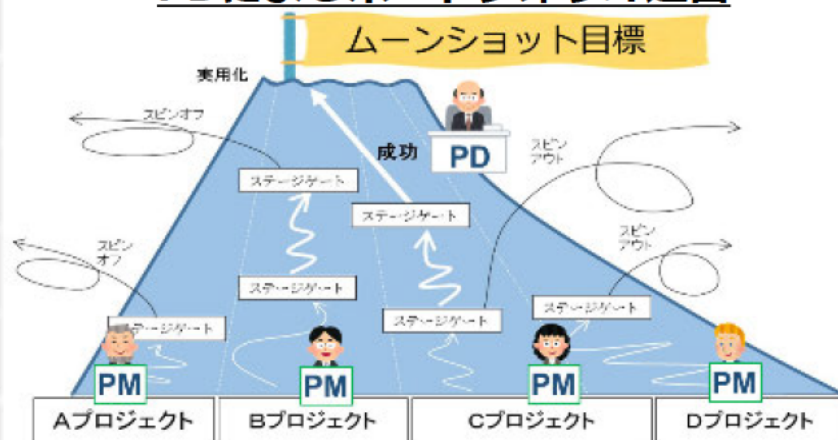
長期的に達成すべきムーンショット目標

- 目標1： 2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現
- 目標2： 2050年までに、超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を実現
- 目標3： 2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現
- 目標4： 2050年までに、地球環境再生に向けた持続可能な資源循環を実現
- 目標5： 2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出
- 目標6： 2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性汎用量子コンピュータを実現
- 目標7： 2040年までに、主要な疾患を予防・克服し100歳まで健康不安なく人生を楽しむためのサステイナブルな医療・介護システムを実現
- 目標8： 2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安全安心な社会を実現
- 目標9： 2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現
- 目標10： 2050年までに、フュージョンエネルギーの多面的な活用により、地球環境と調和し、資源制約から解放された活力ある社会を実現

“Moonshot for Human Well-being”

(人々の幸福に向けたムーンショット型研究開発)

PDによるポートフォリオ運営



研究開発の推進体制

